



今日も異文化交流を

---

ICC

Intercultural Communication Center

異文化交流センター

---



# ICCとは？

ICCは学生の皆さんが主体となって  
**創り・育てる**

異文化交流のコミュニティ







# CONTENTS

ICCについて

ICCイベント

イベントへの参加

参加者/サポーター体験記

SSL体験記





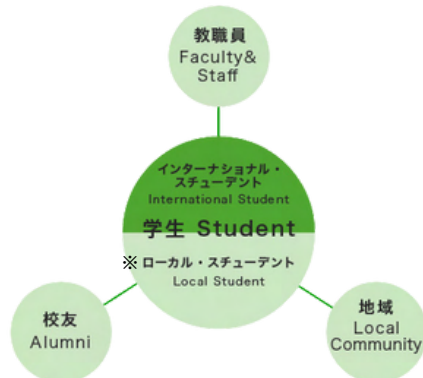
## ICCとは

ICCは学生の皆さんが主体となって創り・育てる異文化交流のコミュニティです。

早稲田大学には世界中からInternational Studentsが集まり、また毎年大勢の学生が海外へ出て勉強しています。

その多様性豊かな環境を活かし、異文化交流のさらなる充実を図るため2006年に設立された拠点がICCです。

ICCはすべての出身地・国籍の人を歓迎し交流機会を提供しています。学生が主軸となり様々なイベントを企画・運営します。世界の文化への理解を深めながら、新たな価値観や文化を生み出すことを目指し活動しています。



### 1 学生を主体とした異文化交流の促進

The ICC facilitates interaction among all students, faculty, staff, alumni and the local community.

### 2 異文化理解促進のための情報発信

The ICC pools facts, data and information vital in promoting cross-cultural understanding.

※ローカル・スチューデントとは

ここでのローカルは「地元の」という意味で、国籍を問わず日本で教育を受けた学生や日本で育った学生を意味します。「インターナショナル」の反意語としての「ローカル」であり、「中央」や「都会」の反意語としての「地方」という意味合いはありません。



## 新

しい文化生成の契機として、異なる文化の接触が果たす役割は大きいものです。本学校歌に「東西古今の文化のうしほ 一つに渦巻く大島国の大なる使命」とあります。校歌が制定された約100年前、日本の国際化が未熟で町に外国人の姿を見ることが少なかった時代に、すでに建学の父たちは、あらたな文化生成の大きな可能性と重要性を異文化の接触に見出していたのです。

21世紀になった現在、本学キャンパスの光景は大きく変化しました。今では日常的にキャンパスで外国人学生を見かけ、さまざまな言語が耳に飛び込んできます。各国・各地域から早稲田に集う外国人学生たちは、各人が固有の文化や価値観の担い手であり、それはまた、日本各地から集う日本人学生についても同様です。このような変化を経て、現在本学キャンパス内には、異文化に触れ、相互交流を行う環境が整ったわけです。

こうした背景においては、ローカル・スチューデントとインターナショナル・スチューデントが互いに多様な価値観と個性をぶつけ合うオリジナリティのある有機的なシステムを構築することによって、相互認識による「共生」のための学習機会を共有することができ、在学中から潜在的な能力やリーダーシップ発揮のトレーニングが可能となると考えます。そして、その経験は全学生にとって貴重な学習リソースとなることでしょう。

本学にはまた、このような将来性豊かな学生と、後輩の支援に熱心な校友、そして協力的な地域コミュニティという強みがあります。この強みを活かし、校友・地域など学外との交流は、国境や国籍のみならず、世代や立場といったあらゆる枠を越えて、活発な相互交流を行う豊かな土壌を育むことができるでしょう。

このような本学の国際的な環境の変化に対応し、文化や国境を越えた相互交流を促進し、文化の創造や新しい価値観の生成を目指して、2006年に「国際コミュニティセンター（現：異文化交流センター）」が開設されました。

建学の理念の一つである「模範国民の造就」は、現在「地球市民の育成」と読み替えられています。本センターの開設により、「東西古今の文化のうしほ」の渦が本学キャンパスのいたるところに現れ、地球市民としての自覚を持った学生が、全人類の進歩向上に寄与できるよう強く願っています。

# “設立理念”



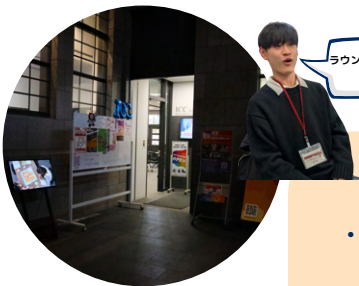
## “活動指針”

ICC（異文化交流センター）は、早稲田大学ダイバーシティ推進宣言（2017年）に基づき、多様な価値観と個性を尊重する環境づくりに取り組んでいます。

### 1. 多様な相互交流の促進

ICCは対等なパートナーシップに基づく以下の交流機会を提供します：

- ・ インターナショナル/ローカル学生間の交流  
言語/文化交流、国際問題討議、音楽、スポーツなど多彩なイベントを展開
- ・ 学生/教職員の交流  
学部/研究科の枠を超えた対話の場と、外国人研究者との交流機会を創出
- ・ 学生/校友の交流  
在学生約5万人と校友約67万人のネットワークを活用した新しい出会いの場を提供
- ・ 学生/地域の交流  
早稲田の地域コミュニティとの相互貢献を促進



ラウンジに入りづらい雰囲気あるけど...  
中は意外と広いよ

### 2. 異文化理解のための情報提供

- ・ インフォメーションコーナー  
地図、「地球の歩き方」、各国の書籍など
- ・ インフォメーションボード  
学内外の異文化交流イベント情報を随時更新
- ・ ICCラウンジ  
気軽に立ち寄れる交流拠点として、情報提供や企画相談に対応



ICCラウンジ紹介動画



ICCラウンジ

最新のラウンジ  
開室状況はコチラ



ICC ラウンジ開室時間  
月-金：10:00-16:00(変更の可能性あり)



PDF版でご覧の方はタップのマークがある部分を  
押すと該当ページへ移動することができます。



# イベント紹介



こんなイベントを  
実施してるよ！



## ウェルカム・カフェ

新入生を歓迎するカフェイベント



## キャンパス・フォト・アドベンチャー

キャンパス内を探検しながら様々なミッションに挑戦！



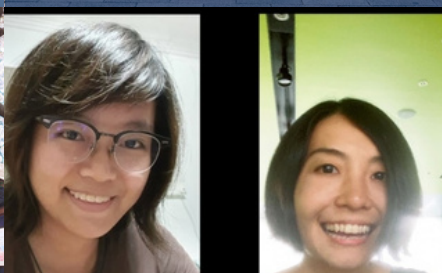
## 言語ランチ

特定の言語で会話しながら楽しくランチ



## 春さんぽ

みんなで早稲田周辺をお散歩



## 日英オンライン・エクステンジ

海外の大学で学ぶ学生と英語＆日本語で交流



## ランゲージ&カルチャー・エクステンジ

Make new friends Learn another culture  
お互いの言語や文化を学びたいパートナー同士を  
ICCがマッチング  
for Waseda students, faculty & staff



## たけのこ掘り

春の所沢キャンパスでたけのこ掘り  
採ったけのこは持ち帰ることも！



## サッカーイベント

言語の壁を越えて体を動かしながら異文化交流



## アウトリーチ

留学生と日本人学生がペアとなり  
小中学校に出張授業



## イングリッシュ・チャット・クラブ

サポーターもいるので英語が苦手な方でも大丈夫！



## にほんごペラペラクラブ

アクティビティを通して楽しくにほんごを学ぶ



## ジャパニーズ・カルチャー・イベント

日本の伝統文化の一部を紹介  
過去には和太鼓、よさこい、茶道などを開催！





## イングリッシュ・アワー

申込不要でよりカジュアルに英会話を楽しめるイベント



## 高尾山ハイキング

みんなで協力しながら山頂を目指そう



## 稲刈りイベント

秋の所沢キャンパスで稲刈り  
お米は後日持ち帰ることも！



## カントリー・フェスタ

特定の国や地域について音楽、スポーツ、食文化などを通して紹介するイベント



## ディスカッション・カフェ

国内外の他大学の学生とディスカッション



## ノーボーダー・キャンプ

ICC独自の「ノーボーダールール」に従って交流



## トーク・セッション

国内外のゲストをお招きし、異文化交流をテーマにした講演を開催



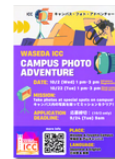
## ワークショップ

伝統工芸から食まで幅広い分野まで取り扱う体験型イベント！



## 日中韓ホンネ交流キャンプ

日中韓の文化・歴史や関係について「本音」で語り合う



最新のイベントはSNS  
& ウェブサイトで入手！





# イベントへの参加

## ICCとの3つの関わり方

### 1. イベント参加者として

多彩な交流イベントを開催：語学練習、トークセッション、音楽、スポーツ、フィールドトリップなど。多くはウェブサイトから簡単に申込可能で、一部は当日参加も可能



### 2. サポーターとして

#### ▶ 言語交流イベントの運営補助

自国・地域の文化紹介

参加頻度は自由に設定可能

募集情報は ICC News メールで配信

#### ▶ 企画サポーター

新しい企画の提案や既存イベントの運営をサポート

文化紹介、テーマカフェ、交流イベントなど、アイデア次第で実現可能



にほんごべらべらクラブのサポーターのみなさん

### 3. 学生スタッフリーダー（SSL）として

学内で働きながら、リーダーシップや企画力、社会で通用するビジネススキルを習得できる学生スタッフリーダー（略称 SSL）。年に数回募集しますので、興味のある方はぜひチャレンジしてください。

SSL

Student Staff Leader



参加者

SSL

サポーター



現役学生スタッフリーダー



ICCは「学生スタッフリーダー（SSL）」が中心になって運営しています。学生自身の視点と発想、企画力、機動力を生かすことにより、在学生のニーズに合った交流機会を提供するとともに自身の企画や夢を実現できるチャンスに溢れています。学生スタッフリーダーは自らイベントを企画・運営するだけでなく、共にイベントを創り上げるためのサポーターを募集し、リーダーとして活動をまとめていきます。

さらに、新入生や国内外からの訪問客へのプレゼンテーションなどの広報活動、カウンターでの利用者対応や、電話・メール等による問合せ対応を含むセンターの運営業務まで、幅広いタスクがあります。単なるアルバイトではなくインターンシップ的な要素もあり、社会で役立つスキルや経験を積むことができ、将来グローバル社会で活躍できるリーダー育成を目指します。



現役SSLの紹介



# 参加申込手順

参加者

サポーター



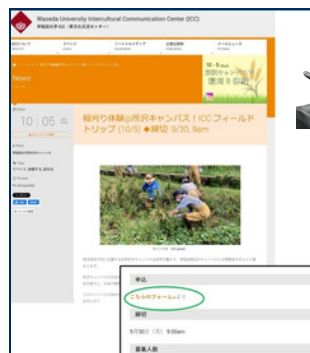
サポーター申込も  
同じ手順だよ！

## 01 イベントを選択



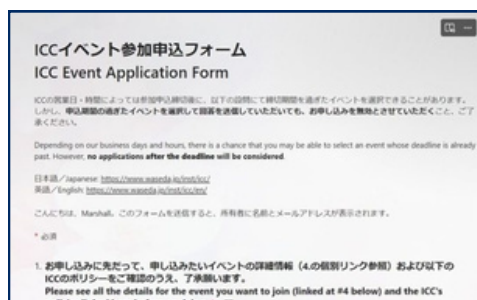
募集中のイベントを選んでク  
リック！

## 02 申込をクリック



申し込みフォームのリンクをクリック  
(先にMyWasedaにログインするとス  
ムズ)

## 03 フォーム入力



フォームに入力し、送信ボタ  
ンを押すだけ！

## 04 イベント参加



当日楽しもう！

※申込数により、抽選を行う場合があります。



## ■ キャンパス・フォト・アドベンチャー

(一部中略)

私は ICC が主催する「キャンパス・フォト・アドベンチャー」に参加しました。

日本にいる際、私たち日本人は多くの場合多数派ですが、今回のイベントで日本人はマイノリティでした。帰国子女でなければ留学したことない私は、そこまで英語を流暢に話すことはできませんでした。しかし、そんな私にも留学生の方々は私に分かるまで話し続けてくれ、また私も自分の知っている単語や知識を精一杯使いながら必死で意思疎通に努める経験ができました。日本にいる中ではあまりマイノリティになる経験はできないため、留学に興味がある私にとっては日本にいながらもこのような経験ができたことは非常に貴重だったと思います。



ここで、今回のイベントを通して一番印象的だった出来事を紹介しようと思います。それは、それぞれが自分の持っているもので相手の足りないものを補うということです。私は日本語話者なので日本語が話せます。一方で、彼らは日本語を話せるようになりたいけれどまだ流暢には話すことができない状況でした。現在、私が抱えている英語に対しての想いと似ていると思います。今回は早稲田キャンパスに精通していないと分からないような場所、例えば、成績証明書プリンターのような場所を見つけ出さなければならませんでした。その際、勿論スマートフォンの使用は禁止で、近くにいる人に聞くことは OK というルールでした。英語がそこまで流暢ではない私ですが、こういった日本語で聞いたものを英語で伝えるということではチームに貢献できたと思います。本当に小さなことですが、日本語と英語の架け橋ができた実感がその瞬間にはありました。この出来事のように、このイベントでは互いに補い互いに支え合う経験という、人生においてもそうですし、世界中でも大切なことを学ぶことができたと思います。

このイベントを通して、様々なバックグラウンドを持つ学生とコミュニケーションを取ることができたのは私自身にとって、とても大きな経験になりました。また機会があれば積極的に参加したいと思います。(Yuta)



## ■ English Chat Club



In May 2024, I volunteered at Waseda ICC's English Chat Club (ECC), and it was a wonderful experience. Meeting other students and making new friends was the highlight. We engaged in English conversations, helping each other learn in a relaxed and enjoyable atmosphere. Being an English supporter and leading the learners can be nerve racking, but the activities that the ICC staff prepared for us were really engaging and helped conversation flow!



We played games in English like "Never Have I Ever" and the "Telephone Game," which brought out lots of laughter and built bonds. It was a great mix of learning and fun! I would highly recommend volunteering at ECC to anyone interested in making friends, helping others improve their English skills, or just looking to meet new people in an uplifting environment. It's a fantastic opportunity, especially for those who may not be confident in their Japanese but still want to connect with others.

My time at ECC was not only rewarding in terms of language practice but also in the friendships I formed and the enjoyable experiences we shared. It's a place where conversing in English feels natural and fun, and where you can build meaningful connections along the way. (Dolan)



# SSL卒業レポート



Haruka

社会科学部

SSL在籍期間

2020年9月 - 2024年1月



## Introduction

I became an ICC Student Staff Leader (SSL) in the fall semester of my first year, and although I had to take a year off to study abroad in Canada, I was able to challenge myself in many different ways throughout my university life while also working at ICC. I was blessed to work and interact with wonderful friends with diverse backgrounds, and working as an SSL was one of the best parts of my student life. By looking back on my precious experiences at ICC, I hope this report will give you some idea of how amazing working at ICC is.

## Why I became an SSL

I first heard about ICC when I was a high school student. I happened to drop by the ICC lounge when I visited Waseda, and I learned about ICC's activities when an SSL at the reception desk spoke to me kindly. I was attracted by the content of the activities that ICC had, but also found the open atmosphere of ICC very attractive. Because I had the experience of living abroad and studying at an international school, I thought interacting with students with diverse backgrounds at Waseda and organizing events myself was a valuable experience that only ICC could offer.

## Challenges of the COVID situation

Just after passing the exam and being accepted to Waseda University, the outbreak of the coronavirus began. Due to the pandemic, my high school graduation ceremony, university entrance ceremony, and welcome parties were all cancelled. Moreover, classes did not start until May, and even when they resumed, all classes were held online. Of course the intake of international students temporarily stopped, and there was a period of time when we could not even go to the campus, let alone engage in intercultural exchange.

It was a really difficult time for me, as I was looking forward to enjoying university life. Even in this situation, I wanted to somehow have a fulfilling time despite the pandemic. Therefore, I decided to start two things: to join the university's varsity hockey team and to engage in ICC activities as an SSL. As a result, I was able to lead a fulfilling student life, even during the pandemic. In particular, since I spent a year in Canada for a study abroad program from the fall semester of my sophomore year, working at ICC and being a part of the hockey team was the most precious time I could spend on campus before going abroad.



日本語はこちらから



## My experience at ICC

As an SSL, I have organized various types of events in the past three years, such as talk sessions, sporting events, and country festivals. The following is a list of the events I proposed and presented.

- Learning about Sustainable Fashion from Patagonia - Think Sustainably, Act Responsibly
- [ICC x Waseda Association Football Club] Online Soccer Trivia Quiz!
- Experience the real Canada at ICC CANADIAN CULTURE NIGHT!!

Among all the events, the Canadian Culture Night was the most memorable one for me. It was the last event before my graduation. (For more detail, please check out my event report.) Making events from scratch, I was able to grow by leveraging my strengths and being aware of and improving upon my weaknesses. When planning events as an SSL, my top priority was to promote my events with more enthusiasm and motivation than anyone. I feel that many guests agreed to help out with my events because of the strong passion I showed as an organizer of the event. At ICC, all the events are organized and managed by SSLs. It was a truly valuable and rewarding experience for me to be able to plan and organize events as an official Waseda University staff member, even though I was still a student.

## Balancing club activities

As I mentioned earlier, I belonged to the Waseda University Girl's Hockey Team, and to my surprise, I was the first student who belonged to the university official sports team in ICC's history. Thanks to the support of the ICC staff, I was able to give my all in both activities. I would like to take this opportunity to say thank you to everyone who supported me through my athletic career.

I spent my days rushing from the hockey field to the ICC office after practice, but when everyone came to cheer me on at my final game, I really felt the warmth of the ICC and was truly grateful that I had met these wonderful people through the ICC.

## Last but not least

For about three years, from the time of my enrollment to my graduation, ICC has been a great place to be, and I have met many wonderful people, including fellow SSLs, ICC staff, and people on and off campus, who have supported me through many challenges during my time here. My fulfilling university days would not be complete without ICC. Again, thank you all so much. With the precious experience I gained at ICC as inspiration, I will continue to do my best in life.





〒169-8050 新宿区西早稲田1-6-1  
早稲田キャンパス 3号館1階



WEBSITE



Waseda ICC